CONTENTS

	編集万針 グループ理念/行動指針 トップメッセージ グループ経営構想V ~限りなき前進~ 特集I:世界の鉄道の発展に向けて 特集I:震災からの復興・地域の復活に向けて …	3 4 7
環境	基本的な考え方と目標 グループ全体の環境負荷 環境目標に対する進捗状況 地球温暖化防止への取り組み 資源循環の取り組み 生物多様性 騒音低減に関する基本的な考え方 沿線環境の向上 化学物質管理 環境コミュニケーション 環境マネジメント体制 東北工事事務所の取り組み グループ会社の取り組み グループ会社の取り組み 環境会計と経営指標 特集Ⅲ:エネルギー・環境戦略	177 188 199 200 277 311 333 344 35 36 400 411 422 433
安全	究極の安全をめざして	45 47 48 51 56 57
社会	お客さまとのかかわり	73 80
	CSRマネジメント コンプライアンス 第三者保証報告 経営企画部長まとめ 社会環境活動のあゆみ/表彰履歴 会社概要 グループ会社一覧	89 91 94 95 96 97

より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www.jreast.co.jp/effort-library/

編集方針

JR東日本では、当社グループにおけるさま ざまな取り組みについて、正確かつ分かりや すくご紹介するとともに、さまざまなステーク ホルダーの方とのコミュニケーションを図る ことを目的として、2002年より「社会環境報 告書」を発行してきました。しかし、近年の社 会情勢や昨年発表した「グループ経営構想 V~限りなき前進~」で地域社会とのかかわ りを事業運営の基軸として改めて位置づけ たことを踏まえ、今年度より「CSR報告書」と して発行をいたします。今回発行した「CSR 報告書2013」では、「世界の鉄道の発展」 に向けた取り組みや 「東日本大震災からの 復旧・復興」に向けた1年間の取り組み、「エ ネルギー・環境戦略 | 「ステーションルネッサ ンス」「東京駅の復原・まちづくり」の取り組 みについて「特集」として紹介しているほか、 ステークホルダーとのコミュニケーションの 一環として、社員等へのインタビューを実施 し、その内容についても掲載いたしました。

本報告書は、「環境」「安全」「社会」のそれぞれの側面で特に進捗のあった情報等を掲載しているため、当社グループ全体の取り組みにつきましては、当社ホームページをご覧ください。

参照した ガイドライン

環境報告ガイドライン(2012年版) [環境省]

環境会計ガイドライン(2005年版) [環境省]

対象期間

2012年4月1日~2013年3月31日(実績データに関しては、2012年度を対象期間としましたが、活動内容については一部それ以前のもの、及び本書発行直近のものも含んでいます)

対象範囲

JR東日本とJR東日本グループ72社 なお、実績データに関しては、個別に 記載している場合を除き、JR東日本が 集計対象範囲となっています。

公表数值

公表数値については、端数処理により 合計が一致しない部分があります。

注… 環境パフォーマンスデータの保証対象について

本報告書に掲載している環境パフォーマンスデータについては、その信頼性を担保するため、「KPMG あずさサステナビリティ株式会社」による限定的保証を受けておりますが、保証対象となっている情報を明確にするため、保証対象とした情報については「☆」を付しています。